



学校だより

浮舟

u k i f u n e

令和6年7月11日(木)
第14号

〒979-2157
南相馬市小高区吉名字中坪1

TEL 0244-44-2023

ライフセーバーによる「水に親しむ教室」

12号でお伝えしました現役ライフセーバーによる「水に親しむ教室」を先週5日(金)、全校一斉に実施しました。昨年に引き続き2年連続となる教室となりました。活動の冒頭では二人一組で「バディ」を組むことから始まりました。いつも「バディ」を気かけながら活動することで、活動の補助はもちろんのこと、お互いの安全を常に確認する大切さを改めて知るものとなりました。夏は海や川での子どもたちの水難事故が後を絶たないだけでなく、学校のプール授業においても児童、生徒が溺れるといった事故も残念ながら毎年のように発生しています。今回学んだ「バディ」の意識を生徒、教師ともに常に持ちながら、今後も本校水泳授業を事故なく進めてまいります。以下に生徒感想(1年生)を紹介します。



学んだことは溺れそうになった時は浮いて鼻と口を出していれば沈まないということがわかった。
鼻に水が入って痛かったけど今度は入らないようにしたい。
エレメンタリーバックストロークを学んだ!
風間さん

もしも川や海で溺れてしまったときはどうするかなどをライフセーバーの人たちから学んだのでこれから自分が溺れてしまった時は浮いて待って、他人が溺れていた時は大人の人を呼ぶようにしたいです。
杉本さん

エレメンタリーバックストロークが難しかったです。全然泳げませんでした。だけど、とても楽しかったです。もし、海や川などに行ったら溺れてしまったら口と鼻を守って浮いて助けを待てるようにしたいと思います。また、来年もやりたいです。
中村さん

去年もやりましたが、今年は小学校より進化して難しかったけれど、泳ぎ方や浮き方を覚えたのでこれをもしものときつかいたいです。また、みんな楽しくプールをすることができました。
井島さん

学校における生成AIの活用について

来週から始まる夏休み期間中、各団体等から作文などの課題に取り組む生徒も毎年見られています。南相馬市教育委員会から学校における生成AIの活用について、確実に指導するよう指示されています。学校では下欄について指導しておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

- ◆ 個人情報やプライバシーに関する情報、既存の著作物に係る権利を侵害しないこと。
- ◆ 感想文等各種コンクールの作品や授業の課題・宿題などについて、生成AIによる生成物をそのまま自己の成果物として応募・提出しないこと。
- ◆ 生成AIには信頼性や透明性に懸念があることを理解し、最後は自己の判断や考えをもって意思決定をすること。